



〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

「勉強」し続ける責務

情報・産業教育部長

小学校のころであったと思う。今ではほとんど見られなくなってしまった生業であるが、大きな背負い籠に菓子や乾物をいっぱい詰め込んだ初老の婦人が時々わが家にやってきて、玄関先に広げた品々の購入を勧めることがあった。それを手にした母が、「これ、少し勉強できない？」と話しかけていた光景がかすかに脳裏に残っている。「勉強」とは、「先生から教わること、宿題をすること」と思い込んでいたその日の私には、この会話が奇異に感じられたものであった。「勉強とは、本来、困難なことを強いて勉める行為を意味し、商人が儲けを削って安く売る、相手のために精一杯努力することも意味する。むしろ、現代では一般的になっている学習の意味で使うようになったのは近代以降の新しいことである。」と知ったのは、それから何年も経った後のことである。

今、それぞれの学校に、それぞれの教科・科目に、それぞれの指導分野に多くの課題が山積して、子ども達のためにすべき「勉強」の種はつきない。来年度も、より良い教育実践に結びつくようセンターが計画している諸事業を、「勉強」の機会の一つとして積極的にご活用いただきたいと考えている。

研修講座等の紹介

「産業教育教材研究と指導法」

情報・産業教育部

農業、工業、商業、家庭といった高等学校職業科目担当者が、一年間、自らの教科指導力向上を図るために取り組んだ「産業教育長期研修」の成果、及び産業社会の変化や産業技術の高度化に対応するための新たな教材を考える「産業教育教材開発研究」の成果を、学科の枠を超えて学び合う講座が、2月18日（金）に開講されました。

それぞれの成果の発表の都度、活発な質問、意見、感想等が交わされるとともに、あわせて行われた先端技術研修及び生徒実習の報告を通して、今後の授業や学習指導の具体的改善案を学び合うことができました。

<受講者の感想>

- ・紹介された教材や指導方法を今後の指導で活用していこうと思う。
- ・他学科の先生方の研究成果に大変刺激を受けた。
- ・学科間連携について考える良い機会となった。



「実践研究発表会」

企画開発部

実践研究の最終回に、研究者による発表会が行われました。実践研究は各自の教育課題に基づく研究活動を、専門主事の支援のもとで5回にわたって行う研究調査事業です。研究テーマは教科指導、図書館教育、健康教育、生徒指導、情報教育など多岐にわたっており、それぞれの研究者が日々の教育実践をもとに1年間研究を推進しました。

発表会では、スライドを用いたり、模造紙、模型、生徒作品などを利用したりして、研究内容が分かりやすく説明されました。その後の、質疑応答でも活発な意見交換が行われました。

実践研究の「研究成果の概要」については、ホームページに4月から掲載されますので、ご期待ください。

<研究者の感想>

- ・他校種や他教科の先生の話聞く機会があり、大変興味深く発表の時間を過ごさせていただいた。
- ・自分の悩み、研究の方向性などを教えてもらえるので、すぐに自分の研究や授業に役立ちました。



平成 23年度総合教育センターの4つの事業について

- 平成 23年度における当センターの 4 つの事業についてお知らせします。詳細は、4月に各地区の校長会で配布する「要覧」や「研修講座案内」をご覧ください。

研修事業

「豊かな人間性・自ら学び自ら考える力などの『生きる力』をはぐくむ教育の推進」という目標のもと、教育課程・学習指導改善の指針の具現化をめざし、教員のキャリアステージに応じて資質の向上を図る研修及び基本的・専門的な知識や技能を習得する研修並びに学力向上等の教育課題解決のための研修を推進する。以下に研修事業体系図を示します。

< 研修事業体系図 >



研究調査事業

学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒に基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけさせ、自ら学び自ら考える力をはぐくむために、共通の研究テーマとして「生きる力をはぐくむ学校教育の在り方」を設定し、県内各学校における教育活動の充実・向上に資するため、児童生徒の実態に基づいて、学習意欲及び学力の向上や生き方にかかわる研究調査を進める。

教育情報事業

センターにおける研修講座の案内や研究の成果、教育に関する図書や指導案等の教育資料、教育用コンテンツの活用事例等、学校を支援するため、教育情報の提供の充実を図る。

教育相談事業

子どもたちの健やかな成長を願って幼児、児童生徒、保護者、教職員を対象に教育相談を行うとともに、教職員の行う研究や学校教育上の諸課題の解決に寄与できるような教育相談を行い、それらの充実に努める。

学校の校内研修を支援します！

総合教育センターでは教育相談の一環として、「校内研修支援」を行っています。これは、校内で行う研修を支援する目的で平成 22 年度から始めたものです。

今年度に利用された学校からは、次のような感想をいただきました。

来年度の利用
をご検討くだ
さい。



実施校の感想

職員がまだ十分に理解できていない傾向があったので、研修を通して全員が共通の理解に立つことができた。

(小学校)

多くの職員が、思い当たる生徒の顔を思い浮かべながら研修し、今までの自分の対応を振り返る時間になった。

(中学校)

家庭科の基礎的な指導のポイントと授業づくりの大切なポイントを教えていただき、有り難かった。

(小学校)

学校で行う研修なので、感想にもあるように「全員が同じ研修を行い、共通の基盤に立てる」「学校の課題に寄り添った研修ができる」などの良さがあります。来年度は、4月の研修講座の申し込みと合わせて校内研修支援の申し込みも受け付けます。利用を検討してみてください。

校内研修支援の概要

(1) 支援できる内容

教材教具の開発・研究、教科の指導法、発達障害理解など、研修講座で扱っている内容や関連する内容について、学校の実情に合わせて校内研修を支援します。

(2) 支援方法

研修講座で扱っている内容や関連する内容について、資料を提供したり、学校の研修会の講師や助言者を務めたりします。

(3) 申込方法

年度当初は、研修講座の申し込みと同時に受け付けます。以後は、関係する部へ直接ご相談下さい。都合がつかない場合でも、教育相談に切り替えて、支援が可能です。関係する部が不明な場合や校内研修支援についての相談がありましたら、企画開発部(0263-53-8802)までご相談ください。